

情報入力シート＜病院情報＞

病院ロゴ	 	
病院名	独立行政法人 国立病院機構 別府医療センター	
薬剤部科URL	https://beppu.hosp.go.jp/shinryoka/bumon/yakuzaibu/	
キャッチコピー	急性期総合病院・がん診療の拠点病院	
学生へメッセージ	別府の温泉と自然に囲まれた環境で、薬剤師として幅広い経験を積んでみませんか？ ・世界一の温泉地・別府。きれいな景色、美味しい食事、買い物の利便性も兼ね備えた街に当院はあります。 ・急性期総合病院として、地域がん連携拠点病院・周産期母子医療センターなど、多彩な診療に触れられます。 ・指導薬剤師のもと、スケジュールに沿って一通りの薬剤師業務を習得できる教育プログラムを用意しています。 ・医療薬学会や日本病院薬剤師会の研修施設として、専門薬剤師の育成にも力を入れています。 ここでの経験は、確かな基本基盤と専門性、医療人としての人間性を育みます。私たちと一緒に成長し、未来の薬剤師としての第一歩を踏み出しましょう。	
プロフィール (600字程度)	・当院は、世界有数の温泉地・別府に位置し、本年は開院から100年を迎える急性期総合病院です。地域がん診療連携拠点病院や周産期母子医療センターなど多彩な機能を備え、地域医療の中核を担っています。 ・薬剤部は、病棟薬剤業務、薬剤師外来、抗がん剤調製、投与設計、臨床研究や治験支援など幅広い業務を展開し、1年目から病棟を担当できる教育体制を整えています。日本医療薬学会や日本病院薬剤師会の研修施設として、多くの専門薬剤師や認定薬剤師を輩出してきた実績があります。ICT、AST、NST、緩和ケアチームなどの多職種連携にも積極的にに関わり、薬剤師の専門性を生かした活動が可能です。 ・学術活動も盛んで、医療薬学会や腎臓病薬物療法学会などでの発表に加え、国内外の学術誌への投稿も続けています。研究活動と実務の両面でスキルを磨くことができる環境です。 ・職場は20代・30代の若手を中心に活気があり、子育て世代も多く在籍しています。リフレッシュ休暇（例として9連休）や育休制度の活用、浅築の院内・院外住宅の整備など、働きやすい環境が整っています。生活面では、美しい自然や温泉に恵まれ、休日にはリフレッシュしながら充実した暮らしを送ることができます。	
連絡先	0977-67-1111 ご質問や見学希望等については、まずは薬剤部長までご連絡ください。	
アクセス [200文字以内]	JR亀川駅より徒歩で12分 JR別府駅東口より亀の井バスで25分、別府医療センター前 下車 大分自動車道別府インターチェンジより自動車で20分 大分空港より自動車で45分	
診療科目	計33科：呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、脳神経内科、呼吸器外科、心臓外科、血管外科、形成外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、精神科、リウマチ科、小児科、皮膚科・皮膚腫瘍科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、臨床検査科、救急科、総合診療科、血液内科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科	
病床数	483床（一般 443床・精神 40床）	
病院の特徴	地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、エイズ治療拠点病院 地域周産期母子医療センター、地域小児科センター、重症難病協力病院	
アピールポイント	学会等の各種研修施設の認定を受けており、多くの認定・専門薬剤師を輩出しています	
研修施設	日本病院薬剤師会 : がん薬物療法認定薬剤師研修施設 日本医療薬学会 : 医療薬学専門薬剤師・薬物療法専門薬剤師・がん専門薬剤師・地域薬学ケア専門薬剤師研修施設 日本臨床腫瘍薬学会 : がん診療病院連携研修施設	
薬剤師数	20 人（治験主任；専従1名を含む）	
薬剤師構成	（男女比）男性 4 : 女性 16	20代 9名、30代 8名、40代2名、50代1名
認定資格・数	日本病院薬剤師会 : がん薬物療法認定2名 精神科薬物療法認定1名 日本医療薬学会 : 医療薬学指導2名 医療薬学専門3名 がん専門1名 薬物療法専門1名 日本臨床腫瘍薬学会 : 外来がん薬物療法認定薬剤師1名 日本緩和医療薬学会 : 緩和薬物療法認定薬剤師1名 日本栄養治療学会 : 栄養サポートチーム専門療法士3名 日本糖尿病療養指導士認定機構 : 日本糖尿病療養指導士1名 日本循環器学会 : 心不全療養指導士4名 日本腎臓病薬物療法学会 : 腎臓病薬物療法認定薬剤師1名 日本腎代替療法医療専門職推進協会 : 腎代替療法専門指導士 1名 臨床薬理学会 : 認定CRC1名 日本麻酔科学会 : 周術期チーム認定薬剤師1名 薬学教育協議会 : 認定実務実習指導薬剤師5名	
臨床研究実績	医療薬学会発表 7題、日本腎臓病薬物療法学会発表 5題、国立病院総合医学会発表 3題 臨床腫瘍薬学会1題 日本緩和医療薬学会雑誌投稿 1報、海外雑誌投稿 2報（令和4～6年度）	
チーム医療活動	ICT、AST、NST、緩和ケアチーム、褥瘡ケアチーム、認知症ケアサポートチーム、災害救護班	
院内保育園（連携含）	☒ 有 ☐ 無	